



つくる、を日常に。

Living with ART.

2021 8.21_(土) - 8.29_(日)

日本画・洋画・書・彫塑工芸・写真

会場

春日井市役所10、11、12階
文化フォーラム春日井

時間

午前9時～午後4時30分
※初日のみ午前10時開場／最終日は正午まで
※会期中休みなし

主催＝春日井市、春日井市教育委員会 後援＝中日新聞社
主管・問合せ＝公益財団法人かすがい市民文化財団
TEL.0568-85-6868 www.kasugai-bunka.jp

春日井市民美術展覧会

市民展

第70回記念

目 次

特別賞受賞作品

市長賞	2
第70回記念賞	5
財団理事長賞	8
教育委員会賞	10
市議会議長賞	12
観光コンベンション協会会長賞	14
委嘱特別賞	18

受賞者、入賞者・資格者一覧

特別賞	20
奨励賞	22
入選	23
無鑑査	27
委嘱	29
審査会員	30

審査講評	31
------	----

応募点数・審査結果内訳	34
-------------	----

市長賞



◀ 日本画
「ななこ」
山本史歩子



洋画 ▶
「ひと息」
早川瑛子



▲ 書
「黝く蒼き叢を」
加藤 貴咲



彫塑工芸
「夢の中で」
塚本将慈



▲ 写真
「戯れ」
外 勢 肇

第70回記念賞



▲ 洋画
「玉野の朝」
加藤 祝 章

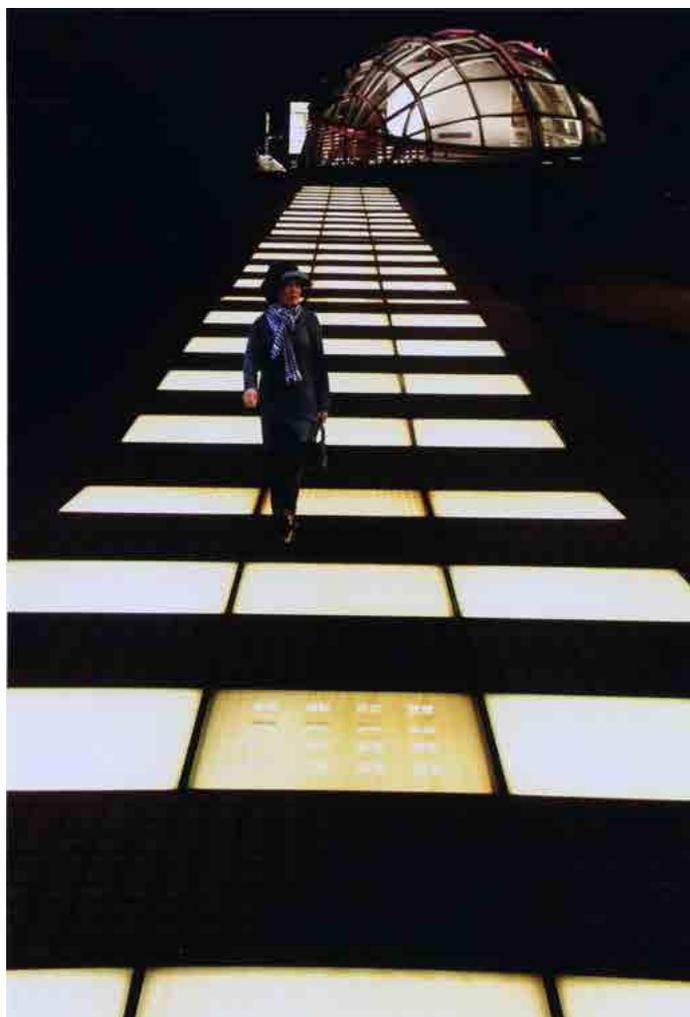


写真 ▶
「夢の中に」
市原 淳 宏

財団理事長賞



◀ 日本画
「天が下椿」
田中朝江



洋画 ▶
「段」
老本 貴美枝



▲ 書
「飛鳥」
梶田汀雨



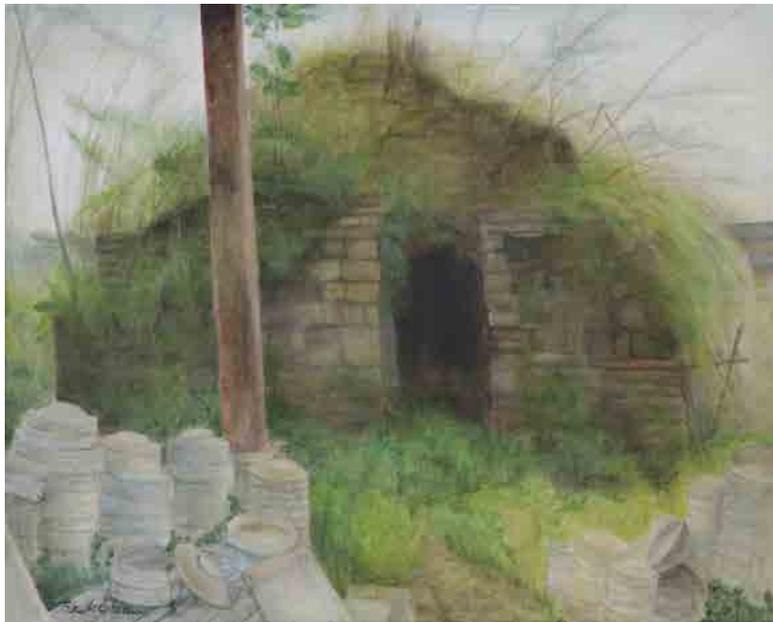
▶ 彫塑工芸
「挑戦」
伊藤克己



◀ 写真
「蛍のお社」
中村春喜

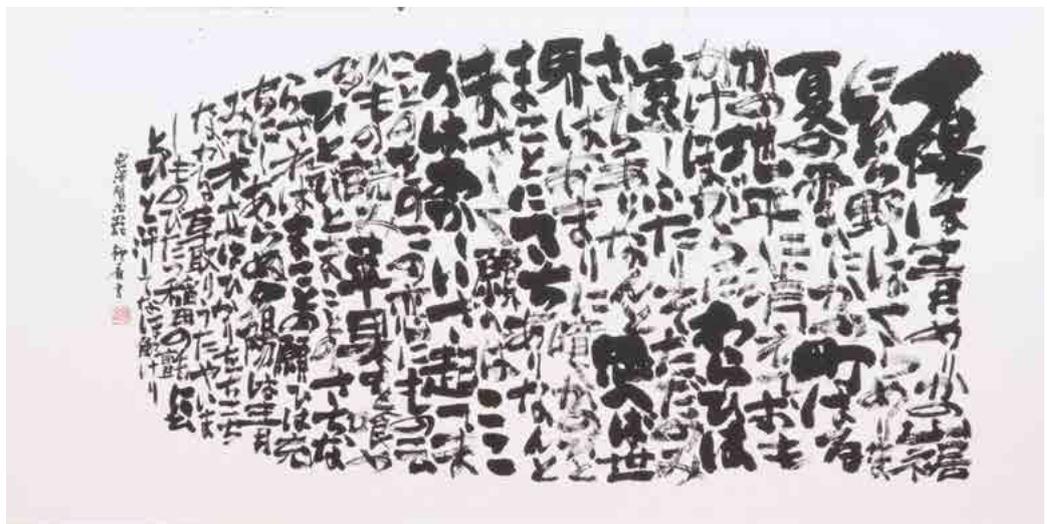
教育委員会賞

日本画 ▶
「夜のコンビナート」
山下 勝一



◀ 洋画
「役目を終えて」
小林 千恵子

書 ▶
「宮沢賢治の詩」
伊藤 柳香





▲ 書
「黄金の在処」
高倉佳風



▲ 写真
「激流に挑む」
神戸敏文

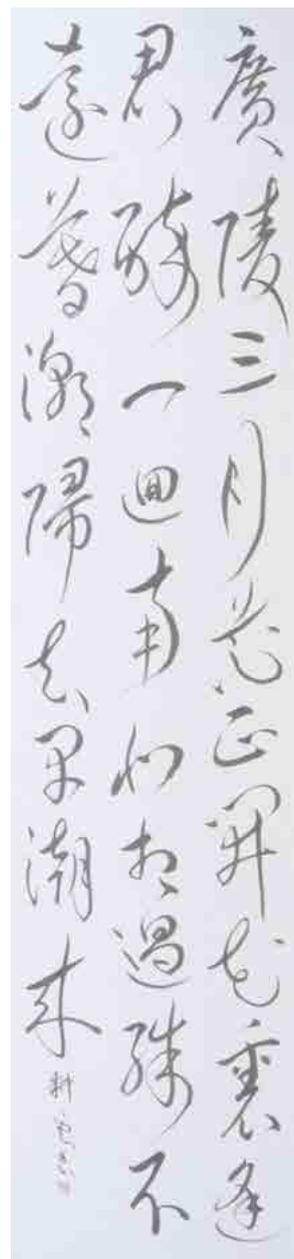


◀ 彫塑工芸
「春がすみ」
舘内圭子

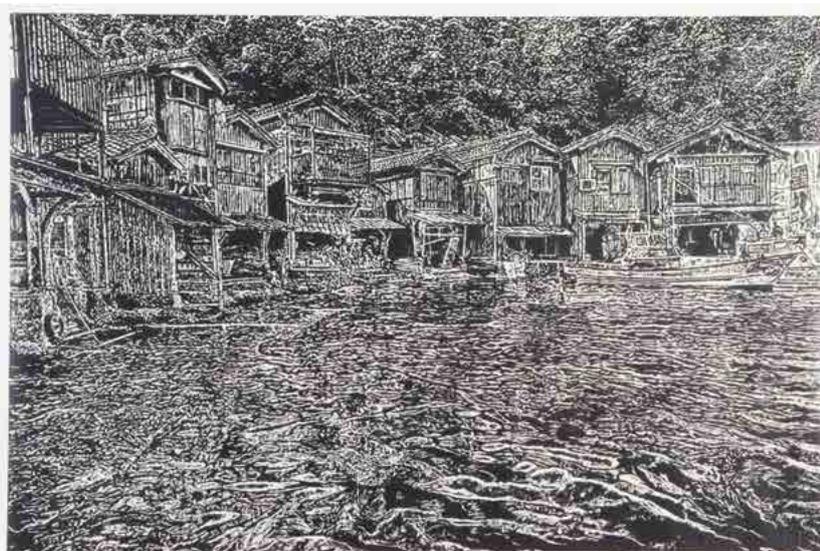
市議会議長賞



▲ 日本画
「まつり」
坪井 勇



▲ 書
「韋應物詩」
酒井 耕雲



▲ 洋画
「癒しの海街」
小笠原 広行



▲ 書
「命」
藤 縄 昌 江



彫塑工芸 ▶
「麻の葉編花籠」
土 方 憲 子



▲ 写真
「光芒を放つ」
古 田 修

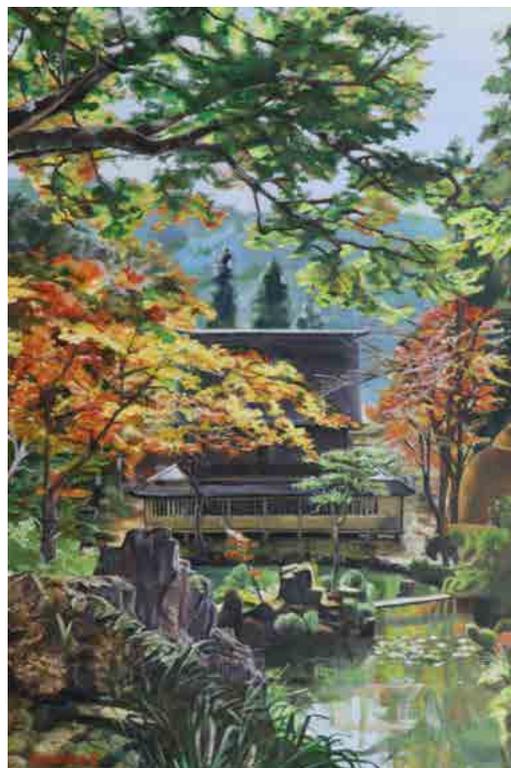
観光コンベンション協会会長賞



▲ 日本画
「春のひと時」
佐伯茂明



▲ 洋画
「時代を越えて」
水野幸子



▲ 洋画
「内々神社」
佐藤早和子

夫靈跡誕邁必表光大
之迹玄功既敷亦

明演

▲ 書
「魏靈藏造像」
長繩朋演

可以聲融繡石采絢雕圖則於我法師而見之矣法
師諱道因俗姓侯氏濮陽人也自繞樞凝社紀雲而
錫胤貫昂攜祥真川而分緒司徒以威容之盛垂範
漢朝侍中以才晤之奇飛芳晉牒衣冠繼及代有人
焉祖闕齊冀州長史父瑒隨栢仁縣令茲琢磨

山田素花

▲ 書
「道因法師碑」
山田素花

祖父鳳孝廉張掖屬國都尉丞右扶風陰
廩侯相金城西部都尉次地太守父琇少
貫名州郡不奉早世是位不副德

柳泉

▲ 書
「曹全碑」
河地柳泉



▲ 書
「與物為春」
長尾祥雲



▲ 書
「日本の風姿」
古川智貴



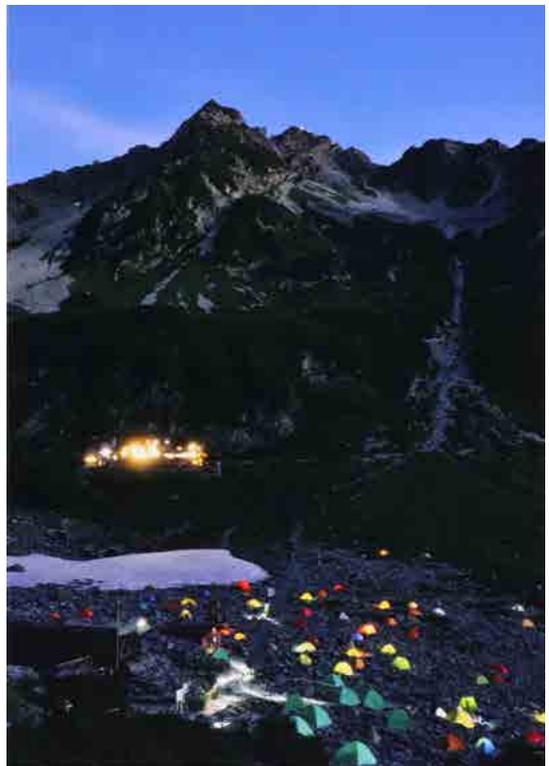
▲ 彫塑工芸
「瑠璃観音像」
長瀬徹



▲ 写真
「釣れるかな？」
松永昭弘



▲ 写真
「夏の帰郷鳥(三光鳥)」
平澤孝允



▲ 写真
「未明の北穂高岳」
吉野徹

委嘱特別賞



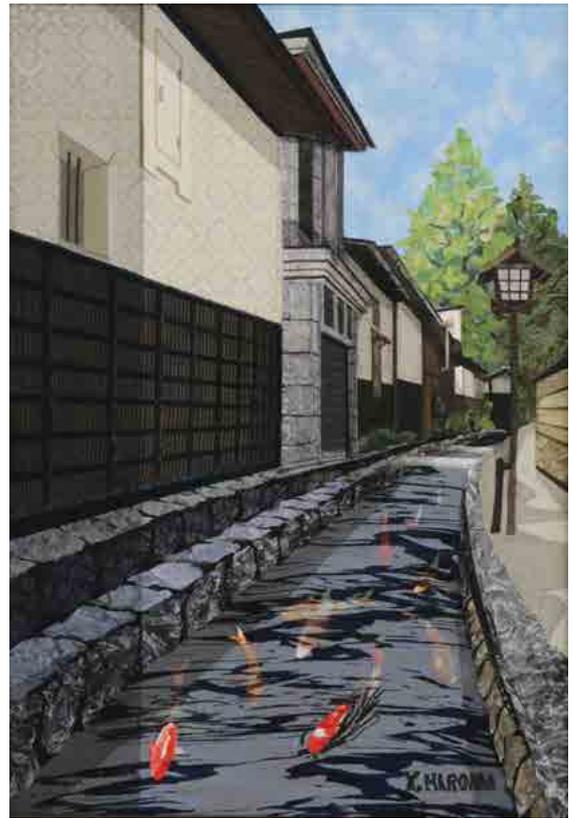
◀ 日本画
「小宇宙」
大 澄 孝 子



洋画
「祈り」
西 島 正 人 ▶



▲ 書
「林間暖酒焼紅葉」
服部光峰



彫塑工芸 ▶
「飛騨古川 町散策」
八木宏美



▲ 写真
「清涼の谷」
坂本進

特 別 賞

(五十音順)

日 本 画

市 長 賞	ななこ	山 本 史 歩 子
第 70 回 記 念 賞	一	一
財 団 理 事 長 賞	天が下椿	田 中 朝 江
教 育 委 員 会 賞	夜のコンビナート	山 下 勝 一
市 議 会 議 長 賞	まつり	坪 井 勇
観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 協 会 会 長 賞	春のひと時	佐 伯 茂 明
委 嘱 特 別 賞	小宇宙	大 澄 孝 子

洋 画

市 長 賞	ひと息	早 川 瑛 子
第 70 回 記 念 賞	玉野の朝	加 藤 祝 章
財 団 理 事 長 賞	段	老 本 貴 美 枝
教 育 委 員 会 賞	役目を終えて	小 林 千 恵 子
市 議 会 議 長 賞	癒しの海街	小 笠 原 広 行
観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 協 会 会 長 賞	内々神社	佐 藤 早 和 子
観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 協 会 会 長 賞	時代を越えて	水 野 幸 子
委 嘱 特 別 賞	祈り	西 島 正 人

書

市 長 賞	黝く蒼き叢を	加 藤 貴 咲
第 70 回 記 念 賞	山房春事 岑參	豊 田 玉 葉
財 団 理 事 長 賞	飛鳥	梶 田 汀 雨
教 育 委 員 会 賞	宮沢賢治の詩	伊 藤 柳 香
教 育 委 員 会 賞	黄金の在処	高 倉 佳 風
市 議 会 議 長 賞	韋應物詩	酒 井 耕 雲
市 議 会 議 長 賞	命	藤 縄 昌 江
観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 協 会 会 長 賞	曹全碑	河 地 柳 泉
観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 協 会 会 長 賞	与物為春	長 尾 祥 雲

書

観光コンベンション 協会 会長 賞	魏霊蔵造像	長 縄 朋 演
観光コンベンション 協会 会長 賞	日本の風姿	古 川 智 貴
観光コンベンション 協会 会長 賞	道因法師碑	山 田 素 花
委 嘱 特 別 賞	林間暖酒焼紅葉	服 部 光 峰

彫 塑 工 芸

市 長 賞	夢の中で	塚 本 将 慈
第 70 回 記 念 賞	ほほえみ	奥 村 日出夫
財 団 理 事 長 賞	挑戦	伊 藤 克 己
教 育 委 員 会 賞	春がすみ	館 内 圭 子
市 議 会 議 長 賞	麻の葉編花籠	土 方 憲 子
観光コンベンション 協会 会長 賞	瑠璃観音像	長 瀬 徹
委 嘱 特 別 賞	飛驒古川 町散策	八 木 宏 美

写 真

市 長 賞	戯れ	外 勢 肇
第 70 回 記 念 賞	夢の中に	市 原 淳 宏
財 団 理 事 長 賞	蛍のお社	中 村 春 喜
教 育 委 員 会 賞	激流に挑む	神 戸 敏 文
市 議 会 議 長 賞	光芒を放つ	古 田 修
観光コンベンション 協会 会長 賞	夏の帰郷鳥(三光鳥)	平 澤 孝 允
観光コンベンション 協会 会長 賞	釣れるかな?	松 永 昭 弘
観光コンベンション 協会 会長 賞	未明の北穂高岳	吉 野 徹
委 嘱 特 別 賞	清涼の谷	坂 本 進

奨 励 賞

(五十音順)

日 本 画

亀 井 伸 司 秋の定光寺山門
松 本 道 子 はつ夏の海旅の話
山 田 憲 子 樹Ⅲ

洋 画

金 子 哲 春待つふるさと
川 口 瓊 子 サボテンの花
杉 谷 まさ子 綿のある静物
高 橋 俊 二 地藏川夕景
長 縄 紀 子 久しぶりの大雪
長谷川 まり子 高遠の春
原 田 進 小幡緑地
日 置 貴 子 コウモリラン
右 高 伊津子 水車小屋・妻籠宿にて
森 田 由美子 映り込み

書

相 原 菅 雪 伊都内親王
安 藤 紫 水 更逢山上一花開
伊 藤 恵 光 針切
伊 藤 清 翠 夕 北原白秋の詩
稲 垣 天 龍 海上開雲
今 田 春 恵 常建詩
今 村 禎 邨 禍中有福
上 原 美代子 啄木のうた
奥 田 霞 峰 見素抱樸

加 藤 敦 美 風景
加 藤 志 翠 司州帖
小 瀬 由 佳 木簡
高 山 紅 雪 寿如金石
津 田 玲 月 太常帖
萩 原 由希子 李花
深 津 早 紀 萬木秋
藤 井 淳 翠 良寛長歌
藤 田 竹 葉 黄庭堅跋
山 田 かをる みどり葉ひと葉
山 中 峰 代 廣瀬川

彫 塑 工 芸

慧 ころろの炎

写 真

安 達 章 三 ポーズ
石 黒 良 夫 森閑の池
伊 里 孝 彦 中綱湖の山桜
籠 橋 定 省 清流のハンター
笠 原 照 雄 大野神社祭禮奉納手筒花火
木 村 弘 之 朝もやのバルーン
小 池 明 夫 塩吹雪
下 平 邦 弘 朝もや
波多野 咲 枝 棚田の夜明け
古 田 恵美子 静寂
水 野 一 郎 影木立

入

選

(五十音順)

日 本 画

相内 恵一	日本の原風景	安藤 博幸	中庭カフェの午後	杉本 達哉	誘
五十嵐 美絵	白い百合	安藤 友南	ウィーン美術史博物館にて	隅田 富子	カキツバタ
泉 三夫	梅林公園	石井 伸子	ここから	関口 章	田園
伊藤 千浪	たいくつ	石川 茜	ウクレレとグラス	高澤 満知子	紡ぐ日々
猪又 良次	出川大塚三角縁神獣鏡	伊藤 明子	猫と音楽があれば だいたい幸せ	竹村 みち子	海へ
今井 一兵	もののけの森	伊藤 左余子	缶	立枕 由衣	静謐
岩佐 秀樹	孫	伊藤 秀和	癒しの川沿い	棚瀬 真理	無題
奥村 往躬	孫悟空	伊藤 博之	里の駅	田屋 澄江	エントツ まちのシンボル
梶田 俊計	屋土池の桜	伊東 通子	向かい風	塚原 昭和	採石場
笹尾 純子	夢殿	居波 律子	森の青い鳥	辻 一成	北海道犬ゴン
杉山 美千代	街道	上村 修	のんぼり洗い	土屋 文秀	道標
鈴木 緑香	ラスト・ラン	浦 恵子	メリークリスマス	遠山 健	花と蝶
高木 哲男	眈 眈	浦 聖人	ライオン	富山 仁美	水無月祓
高嶋 康子	立夏の頃	大島 巖	自分達の歳神様	中條 巖	家族だから。
田口 五津子	涛聲	大脇 宣夫	春の落合公園	中畑 寛重	静物(大皿とボトルカップに果物)
富山 暘子	上高地大正池	岡屋 勘	緑の反射	中村 みよ子	コロナ禍の新一年生
波多野 立子	ひがん花	萩巢 義夫	ローマン橋(上田市)	中山 恒忠	フラワーアレンジメント
繁昌 正宏	「再生」	尾澤 芳子	果物と人形	野中 清三	公園の避暑地
福田 俊博	はず	加藤 砂夫	緑化植物園	林 明美	壺のある静物
堀 久美子	山居倉庫の朝	加藤 麻穂	海月	原口 かち子	収穫
松井 弥	憧れの展望	加納 裕美	どろんこパーク	坂野 うた子	ベトナムの少女とパン
松井 美和子	水芭蕉	川添 孝	木版画	平岡 容	新しい生命を授かった喜び

洋 画

赤池 成子	コスモス	小林 光雄	中国の連山風景	深谷 久美子	アーティーチョコレート
秋本 慎ノ介	ピンクの群れ~フラミンゴ~	佐野 瑤子	上高地	福岡 博志	ブダペスト王宮の丘
あけだ にちほ	最後の時まで	島貫 智子	厨房の片隅	福島 淑子	虹(レインボー)
浅野 勝一	工事現場に直行	下田 郁代	蓮の花	藤井 凡雅	長野・松川町から御嶽山を望む
安藤 恵一	蓼科高原	末永 ユリ子	柘榴	松田 美智子	いただきます!
		杉浦 カヲル	ギターを習う	馬 淵 眞一	黄山雲霧

水谷 浩	デゴイチ	植田 彩音	蘭亭序	榎田 游月	雨快帖
水原 桜春	私のキセキ	白井 照	切磋琢磨	九野 恭葩	春の馬
宮崎 清子	イグアスの滝	梅田 栄香	眺望	熊谷 涉	濤聲
村瀬 貴久雄	想い出	浦濱 那奈	曹全碑	黒田 玲香	一声老鶴月中聴
森島 美佐子	麗しの人	遠藤 瑞希	蟻の歌	古井戸 実侑	臨高臺
安井 明彦	人形	大井 竹香	臨 鄭羲下碑	合木 湖雪	わが庭
安田 百花	秘蜜に染まる	大内 久子	放下着	光同寺 芳	客中春晚
渡辺 朋子	木々たちの秋	大島 宏恵	楽以忘憂	小坂 怜	道遠知驥
佐 助	爪を切る人	太田 桜舟	真草千字文	小坂 恒	胡福
		大谷 和子	萬里長城の歌	五藤 しのぶ	春
		大畑 華雪	初春	古家野 弥生	木の實
		小川 悦子	雁塔聖行序	近藤 春径	五雨の句
		小栗 舟秀	伊都内親王願文	近藤 真紀乃	杜牧詩
		落合 博歩	関戸本古今集	堺 千重美	七言二句
		鹿倉 清葉	飛花	酒井 鳴石	楊峴書
		鹿島 清春	夢筆生華	酒井 結衣	祭姪稿
		加藤 佳茜	自叙帖	作田 菜月	花ひかる
		蟹江 和江	溪谷	柴田 喜代市	卒寿大慶
		兼本 萌衣	木簡	清水 美鈴	道因法師碑
		神村 瑤春	窪田空穂の歌	笙田 倫世	後庭のロダン
		神山 昌子	心経	鈴木 優子	雁塔聖教序
		河内 結夢	風信帖	鈴木 早紀	後徳寺左大臣の歌
		河口 航毅	廣瀬川	染野 巖峯	孤鶴有聲
		川口 芳雲	温室	多田 祐子	水平線
		神沢 紅峯	夜半酒醒	楯 勝苑	小祥帖
		神田 俊爽	真草千字文	田中 薫園	春夜
		神原 佑衣	造像記	田中 滉樹	斎藤茂吉詩
		神戸 千春	たかしの句	千々岩 清心	真草千字文
		北村 栖軒	蘭亭序	帖地 玉虹	自叙帖
		木野瀬 陽光	雀の卵	塚本 清翠	翠禽

書

青木 笙月	司州帖	小川 悦子	雁塔聖行序	近藤 春径	五雨の句
浅野 美扇	真草千字文	小栗 舟秀	伊都内親王願文	近藤 真紀乃	杜牧詩
足立 恵川	鄭羲下碑	落合 博歩	関戸本古今集	堺 千重美	七言二句
飯田 桜子	早春歡喜	鹿倉 清葉	飛花	酒井 鳴石	楊峴書
井口 佳洋	川路柳虹の詩	鹿島 清春	夢筆生華	酒井 結衣	祭姪稿
石川 真曄	オリパラリンピックに寄せて	加藤 佳茜	自叙帖	作田 菜月	花ひかる
伊藤 亜希	島木赤彦の歌	蟹江 和江	溪谷	柴田 喜代市	卒寿大慶
井藤 雅香	書譜	兼本 萌衣	木簡	清水 美鈴	道因法師碑
伊藤 寿美乃	新年	神村 瑤春	窪田空穂の歌	笙田 倫世	後庭のロダン
伊藤 八舟	雁塔聖教序	神山 昌子	心経	鈴木 優子	雁塔聖教序
伊藤 雛子	朝	河内 結夢	風信帖	鈴木 早紀	後徳寺左大臣の歌
伊藤 宏子	高翥詩	河口 航毅	廣瀬川	染野 巖峯	孤鶴有聲
稲垣 舞香	自書告身	川口 芳雲	温室	多田 祐子	水平線
今田 直孝	七言詩	神沢 紅峯	夜半酒醒	楯 勝苑	小祥帖
今田 拓孝	朱文公詩	神田 俊爽	真草千字文	田中 薫園	春夜
岩田 紅苑	道導	神原 佑衣	造像記	田中 滉樹	斎藤茂吉詩
岩田 秀華	夕暮れの秋	神戸 千春	たかしの句	千々岩 清心	真草千字文
岩田 守貞	自叙帖	北村 栖軒	蘭亭序	帖地 玉虹	自叙帖
岩畑 杏実	自叙帖	木野瀬 陽光	雀の卵	塚本 清翠	翠禽

津田奏遥	松島	古田輝美	郷秋	渡邊翠流	黙示 木原孝一の詩
坪井重夫	受福無疆	堀清琴	高啓詩		
津山栖峰	十七帖	堀尾芽衣	五言詩	彫塑工芸	
寺尾青波	蛙聲	本多しまゑ	柳宗元詩	青木一江	幸せの日々「孫とひ孫たち」
富田佳蒼	争坐位文稿	前川瑞峻	草野心平詩	池井頼雄	求愛
富田鶴美	与謝野鉄幹詩	前田笙風	長楽少年行	伊藤敏安	ギフトチョウ
富永晴美	功遂身退天之道	間瀬慶風	王羲之尺牘(遠近清和帖)	伊藤正幸	作品2021
永草紅風	好雨	松田和奏	孔子廟堂碑	岩田洋	釉裏紅はまなす文皿
中敷領立庭	争坐位文稿	松野悦子	壽萬春歡無歇	佐高麻理子	nine ballads
永田正毅	無疆之辭 死生之地存亡之道	松原瑞穂	早春歡喜	難波沙帆	AMANE
中谷翠月	清平調詞三首	松村健太	藍田溪詩	菱田久仁雄	艶色
中村未謡	孔子廟堂碑	松元涼風	遊日帖	美頭保	美と蛇
西村克美	白牡丹	三枝愛実	無題	平井輝彦	早春
丹羽英里奈	瀧口武士の詩	水野遥風	十二愛詩 其の二	藤澤康子	花咲か爺さん
丹羽慶次郎	夏日孔雀賦	宮崎あさひ	Stellaを	松本廣行	段
萩原清澄	無絃の琴	宮田基次	耐雪梅花麗經霜楓葉丹	望月鏡子	球美の風
橋傍草堂	春夜別友人	三輪桂女	中島棕隠「偶成」		
長谷川育子	古今和歌集	三輪セーザル	矛盾 雲中白鶴	写 真	
服部敦子	木の間もる	村田麗水	善數不用籌策	阿部照美	赤い季節
服部早紀	福寿草の花	森尾愛音	宣示表	荒川一正	銀色の遙かな路
花田佳子	海の風景	柳瀬柳香	書譜	家田大輔	夕陽 明日への光
林菁鶴	金子みすゞ詩	山内すみれ	以闇見疵	石井和廣	槍ヶ岳残照
林成清	萩(九月)	山岡清風	春日 唐庚詩	石川宜明	螺旋階段
原田沙季	渦	山田春麗	従岐王過楊氏別業	石黒清孝	マツテー
原田耀山	對馬	行武真由美	歸徳	磯村弘	波紋
坂みゆき	千利休	吉川春泉	十四夜月を待つ	伊藤智広	初打ち
菱川武	變和萬載	吉田翠香	北原白秋の詩	稲垣一弘	接戦
日比野碧山	真草千字文	吉田茜湖	早春	稲垣翔太	とある日の夕景
広井雅風	陸遊詩	吉田玉枝	仙境	井上利宏	瞳
藤原恭子	達	吉田芳水	書譜	今泉信一	ステンドグラス

江崎光男	降り注ぐ光芒	澤田昌俊	さった峠の夜景	藤田守男	木漏れ日
大熊俊雄	仲良し姉弟	信濃喜六	雪山に誓う愛	船橋愛奈	落日
小笠原貞二	大空に染まるトキ色	清水義博	幸せ運ぶ新幹線	堀内英昭	落陽
小椋英雄	犬山城暮景	下村立上	高嶺ルビー	前川敦哉	その先へ…
小野木僚大	7時55分	杉浦英幸	立山彩雲	前村嘉治	小田代の朝
小原壮一	水たまり	杉村靖之	トリックではありません	真木美知子	競艶
折戸秀明	龍・現る	杉山道生	僕も頂戴	松井	変わらない少年の夢
垣内正博	黄葉	鈴木賢一	傘さして歩く梅雨空散歩道	松澤敏治	オランダを想う
加島治夫	溪を飾る	鈴木宏昭	クライ・マックス	松下進	秋が映える
片田芳朗	ホワイトハウス	高木正己	田植えの頃	松田健	大須の花道
片山真	brilliance	田中陽登	桜並木の通学路	水谷琴美	芽吹き美人林
加藤大翔	落ちて尚咲く椿かな	徳永ゆい	魅力	水野義己	生きる
加藤学	岩石(何か観えませんか?)	仲井由美子	森の妖精	宮内憲一	錦繡の庭
加藤道子	珊瑚礁の住める海	長尾愛梨	金風の吹いた日	村田正美	竹取物語
金澤正浩	朝霧沸き立つ	長尾哲男	風雅に時めく	森幹雄	恋路ヶ浜
岸才紋	花時雨の朝に	中條巖	大仏さまの化粧直し(ヤンゴン)	森嶋廣	クライマックス
北川しゅん	雨上がりの夕日	永田昭夫	全集中	山岸武久	霧の門内小屋
久野榮次	ムーンロード	中西謙一郎	朝焼けの大久手池	山崎房代	春が来た!
熊野義樹	久しぶり	中村和夫	夏は来ぬ	雪嶋大	団欒
小篠利史	いぶき	中村庸男	雲湧く宝剣岳	吉田勝志	錦秋の日和田富士
小島明男	初舞台の少女	名倉進	大和路の春	渡邊信二郎	高原の夜明け
小島俊子	さんさ踊り	丹羽正彦	静と動	渡邊勉	ケントのお花見
後藤和雄	満開の桜の下で	丹羽守男	白水湖	渡辺久尚	秋雨
小林克子	楽しい食事	橋本章	何思う		
小林光雄	春日井のシンボル	長谷川英乃	朝霧に包まれる戸隠西岳		
近藤義教	シンメトリー	長谷川能文	台地の雲		
斉藤光代	公園日和	波多野豊子	声援		
酒井親	[千と千尋の神隠し]のふるさと台湾	平川朋実	この指とまれ		
坂田百栄	待ちわび	福田俊博	憂鬱な昼下がり		
坂本秀明	変わり行く時代	藤田文夫	絹糸の流れ		

無 鑑 査

(出品者のみ、五十音順)

日 本 画

飯 尾 博 明 みずわ
 武 内 喜代子 向日葵
 田 中 朝 江 天が下椿
 坪 井 勇 まつり
 諸 岡 幸 子 散華が舞う観音さま
 山 下 勝 一 夜のコンビナート

洋 画

会 津 清 子 小山羊さんの所へインコちゃんが…
 朝 妻 由香里 景色をつむぐ
 老 本 貴美枝 段
 大 塚 早 苗 葛藤
 奥 村 進 旅の途中 オビドス
 加 藤 祝 章 玉野の朝
 加 藤 千恵子 夏
 加 藤 美代子 伊吹山
 神 戸 健 志 二代目幻想ビルヂング
 黒 原 すみえ 早く夜明けよ来ておくれ
 坂 本 泰 山 生命
 佐 藤 早和子 内々神社
 佐 藤 百合子 春色座像
 鈴 木 三 枝 la poupee
 田 邊 陸 男 なごや港 渡り鳥
 橋 本 進 岩の見える風景
 浜 谷 真知子 「あっちに行こうよ!」
 深 山 百合子 百日草
 増 田 美和子 春の歓び
 松 岡 弘 美 WATA
 山 田 貞 子 アダージョを聴きながら

書

浅 野 春 翠 破山寺後禪院
 井 戸 茂 造 遊
 伊 藤 一 典 般若心経
 伊 藤 翠 月 草書千字文
 上 田 清 楓 幽州夜飲
 大 橋 幽 徑 久々湊盈子の詩
 岡 田 雪 魚 争坐位文稿
 小 川 華 舟 夢回春草地塘外
 笠 木 柏 舟 花火～エールよ届け～
 梶 田 汐 里 すかんぼの咲く頃
 梶 田 夕 貴 新柳
 加 藤 紅 曄 村上成実詩
 亀 田 橋 河 書 譜
 川 合 碩 山 陸游詩
 河 地 一 舟 屏風土代
 河 地 柳 玉 曹全碑
 河 原 綵 子 山家集より
 櫛 田 瑤 月 礼器碑
 工 藤 雅 恵 梅花落處疑殘雪
 國 定 景 風 楊柳青々
 小 島 徹 頑はない歌
 小 林 玉 葉 山家心中集
 小 林 溪 翠 木簡(王杖詔書令)
 小 林 恵 風 霧雨
 重 見 梢 玉 マーテルリンクの詩
 柴 田 美 保 大伴家持詩
 清 水 竹 水 篆書千字文
 鈴 木 春 葉 高村光太郎の詩
 竜 田 春 蘭 郎士元詩
 谷 利 紫 鳳 鯛
 鳥 居 彩 雨 泊歛浦
 中 澤 抱 翠 一灯幽館菊花雨

長 縄 桃 李 千字文(米芾)
 永 見 沙 香 林辺鳥語月
 西 山 美 翔 西亭春望
 仁 部 巒 琇 与謝野晶子の詩
 野 中 游 園 王維詩
 野々川 翠 扇 南湖
 羽 柴 苔 谷 熱風
 原 三 篁 蜀素帖
 原 田 美 紀 長沙馬王堆漢帛書
 平 野 智 山 朝涼
 福 留 文 蛤 自叙帖
 藤 田 香 志 一声老鶴
 古 川 直 美 智證大師諡号勅書
 古 橋 篤 和 曹全碑
 増 田 紅 葩 智恵子抄
 松 田 玲 花 孔子廟堂碑
 松 原 楽 朋 忘れがたき人々
 右 高 香 山 磨崖佛
 宮 田 澄 希 石鼓文
 山 田 翠 苑 楽毅論
 山 本 康 二 雲霞白晝孤鶴
 山 本 鈴 珠 馬王堆漢帛書 戦国縦横家書I
 横 井 吟 虹 譬喩(抄)
 横 井 光 城 五湖の秋
 吉 岡 翠 谷 無極

彫 塑 工 芸

奥 村 日出夫 ほほえみ
 川 口 瓔 子 四角の布に思いをのせて
 舘 内 圭 子 春がすみ
 塚 本 将 慈 夢の中で
 林 泰 子 「永遠の愛」
 土 方 憲 子 麻の葉編花籠

平 野 鎮 雄 熊野本宮大社詣で
 村 田 紀 子 燦燦と

写 真

浅 井 馨 語らい
 安 達 和 子 力合わせて
 安 藤 年 孝 僕の妹・私の妹
 石 井 啓 喬 紫陽花に集う
 伊 藤 護 雪原
 今 井 千津子 トリオ
 上 原 一 郎 白雲
 牛 場 建 一 恋の予感
 大 島 守 ふれあい
 奥 村 起巳生 祭りの日
 川 合 秀 志 風光る
 鈴 木 建 彦 青い妖精
 高 原 良 造 笠雲
 竹 島 光 治 晩秋
 竹 島 洋 子 新緑の頃
 田 中 吟 胡 錦秋
 外 勢 肇 戯れ
 長 沼 篤 已 若夏の頃
 永 宮 正 義 紅葉
 早 川 幸 夫 風波強し
 凡 三 あかとき
 松 本 唯 明 『朝ごはん、早く釣ってよ!』
 山 田 徹 春の渦
 山 田 久 子 ナイス、キャッチ
 吉 野 徹 未明の北穂高岳
 吉 村 清 子 奇跡の瞬間

委

嘱

(出品者のみ、五十音順)

日 本 画

梅 本 美千子	秋開けて
大 島 雅 子	刻
大 澄 孝 子	小宇宙
奥 村 日出夫	山帰来
鈴 木 敦 子	アルザスワイン街道
瀧 日 勝 子	アール・ヌーヴォーの世界
田 中 恵 子	お膝だいすき
田 中 よしこ	クレマチス
平 松 節 子	ワニ

洋 画

石 黒 郁 美	カイルモア修道院
伊 藤 泉	牡丹
稲 葉 幸 夫	おきなわ風景
大 泉 雄 一	花籠を持つ女
小 原 芳 子	晩秋の伊吹山
嘉 瀬 忠 男	幻想
白 鳥 喜代司	木曾の崖家
鈴 木 英 機	家並み風景
西 島 正 人	祈り
山 本 英 之	温室

書

伊 藤 芳 華	ひかりのいと
今 井 芝 香	弘子の句
岩 田 守 文	山河四望春
鶴 飼 冠 山	林外雪消山色静
宇 野 光 峰	海の季節
大 嶋 雲 亭	杜牧詩
岡 本 桃 香	武島羽衣詩
小 川 岳 南	佐々木信綱の歌

小 幡 豊 園	後夜聞佛法僧鳥
加 藤 城 涯	野曠日瞳瞳
神 戸 春 谷	土井晩翠の詩
河 野 春 童	弁天踊
小 嶋 恵 泉	春雨の
小 林 京 苑	高野切第一種
代 田 美 泉	翹
鈴 木 凍 山	芭蕉の句
服 部 光 峰	林間暖酒焼紅葉
桃 井 祥 谷	俳句

彫 塑 工 芸

伊 藤 時 子	なばなの里
打 田 世 道	七宝花器
柴 田 文 夫	暖
西 口 昭 雄	太陽風で地球を守れ
松 本 芙三子	華の宴
八 木 宏 美	飛驒古川 町散策
安 江 勝 夫	阿弥陀如来

写 真

伊 藤 とよ子	これからは・・・
大 嶋 和 美	湖畔の朝
大 島 雅 子	ファミリー
坂 本 進	清涼の谷
坪 井 満 子	晩秋
中 西 眞 二	森の伝達者
西 井 忠 義	雪景
村 里 茂 延	波濤に飛ぶ
森 田 和 生	青春
安 場 佳 展	斎王参向

市民美術展覧会審査会員

(順不同)

日本画

安達 英志郎 舞う
 森脇 正人 遠雷
 浅野 忠 溪流雪景
 鈴木 淳子 うつろう
 瀧下 尚久 五宝瀧
 加藤 洋一朗 冬の道
 芝 康弘 夏の約束

洋画

奥村 浩康 想
 後藤 勉 窯場風景
 三宅 純三 野菜
 中西 齋之助 一
 小林 笑子 初夏の花たち
 小林 俊明 知らない風景
 塚田 譲 庄内川春
 岡部 寛治 旅の思い出(南伊マテラにて)
 木村 順一 時の重さ
 新井 直子 初夏の静物
 兼 忠志 田中一村も見た奄美ブルー
 水谷 武 予感2021

書

中村 立強 絶句
 藤田 金治 怠
 長谷川 秀谷 真弓の歌
 石黒 柏葉 メッセージ
 後藤 幽泉 黄金虫
 故河野 春園 大黒舞
 木全 春葉 一
 安達 柏亭 青嵐
 橋詰 桃邨 忍之一事衆妙之門
 小林 静葩 一

日比野 桃花 李白詩
 武内 峰敏 武内幽華の句
 小川 大樸 寿万年
 川本 赫汀 八幡宮
 原田 凍谷 武藤あい子の句
 長谷川 清城 窓下
 山川 昌泉 陸游詩
 梶田 文宗 老子道德経
 後藤 抱琴 さくら
 津田 松鶴 野茂小百合の詩
 鈴木 香萩 さらば紅の貝塚
 三島 濟美 鳴
 伊藤 井翠 青門日暖塵光動
 川本 大幽 桜剣義魂
 落合 棲谷 欣游暢神
 河地 栖雲 漠々秋雲起
 小山 峯雲 薩都刺詩
 永瀬 紅蘭 高資の句
 松本 盈真 山居秋暝 王維詩
 小坂 克子 昏禮威儀・如承祭祀

彫塑工芸

高橋 佐門 灰釉竹舟花生
 吉村 政美 孫
 柴田 明 有線七宝抽象文飾箱
 河村 佳則 マーくん
 伊藤 典子 SO宙RA-胡韻
 丹羽 萌 蒔絵文箱

写真

伊藤 滋 なかよし
 安藤 宏幸 親子
 奥村 克己 悠久の棚田
 丹羽 省吾 湖上の熱気球

審 査 講 評

日 本 画

今年の日本画部門は、一般28名、無鑑査6名、委嘱9名の合計43名の応募と、審査会員7名を加えた出品がありました。コロナ禍にもかかわらず、昨年とほぼ同じぐらいの出品があり、大小どの作品も心のこもった作品ばかりで市民展に対する前向きに取り組む姿勢に変わりはないことを感じました。新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、定員人数を10名程度とした公開審査の中、昨年同様に慎重に、審査員総意のもと各賞を次のように決定致しました。

市長賞「ななこ」山本史歩子……人物を中心に、いろいろな花をたくみに構成されており、色彩も豊かで、ファンタスティックな魅力的な作品となりました。

財団理事長賞「天が下椿」田中朝江…丁寧に着実な手法で、椿の花がリズムよく、色彩も落ちついた、美しい作品になりました。

教育委員会賞「夜のコンビナート」山下勝一……林立する工場群のエントツの間を、流れるような墨の濃淡を使って光を感じず美しい夜景を感じさせる。

市議会議長賞「まつり」坪井勇……まつりの片隅で一服する親子でしょうか、着物の細かい模様を丁寧に描き込み、画面全体を赤で統一、よりまつりらしくしている、特に足もとの表情が見えていてホッとさせられる。

観光コンベンション協会会長賞「春のひと時」佐伯茂明……椿の葉一枚一枚、丁寧に、いく重にも塗りかさねられて重厚で美しい画面に仕上がっている。二羽の雀が画面を引きしめている。

委嘱特別賞「小宇宙」大澄孝子……全面に神経のゆきとおった秀作。色彩も豊かでみずみずしい美しい画面になりました。

奨励賞「樹Ⅲ」山田憲子……細やかに丁寧な筆づかいからくるのか、一つ一つのフォルムが面白い。

奨励賞「秋の定光寺山門」亀井伸司……山門と遠方の秋の風景の対比が面白い。

奨励賞「はつ夏の海旅の話」松本道子……旅の思い出から、浮かんでくるものを自由に構成されて、色彩も鮮やかに、夏を感じさせる作品になりました。

今回惜しくも賞にならなかった中に魅力的な作品が多々

ありました。今後に期待したい。日本画は手間がかかるというイメージがありますが、一つ一つクリアすることは、そんなに難しい事ではないと思います。一つのことをやりとげた時の楽しさを掴めれば、こんな面白いものはないと思います。“やってみようかな”と迷ってみえる方、是非創造の世界に挑戦してみてください。

＜日本画部門審査会員 安達 英志郎＞

洋 画

今年度は第70回記念市民展に当たり、洋画部門市長賞とともに第70回記念賞も大きな価値ある賞があります。応募点数は審査会員の作品を含めて130点寄せられました。どの作品も力作で、選出時に、どれを選ぶか迷うほどの作品がそろったことは70回の歴史をもつ市民展としてうれしいことです。

市長賞に決定した作品はインド・ネパール風の衣装の女性立像です。丁寧に描き方で、審査員全員の注目した作品です。特に女性のきめ細やかな表情を軟らかく捉えるとともに、女性の全体の縦の線に対して後ろの石段の横線がバランスよく画面を引き締めています。人物画に大切な存在感を力強く感じる作品です。

第70回記念賞の作品は、冬の玲瓏とした空気感を出すことに成功した作品です。ナイフを目立ちすぎることなく使うことによって、線を鋭利に描き透明な空気感をだすことに成功しています。また遠景の黒い丘が強い印象を与え、それが冬らしい落ち着いた雰囲気を表しています。

近年は版画の応募作品は少なくなっていますが、今年の版画作品は質が高く、点数は少ないながら力作が2点も受賞作品となりました。財団理事長賞作品は一種の風景画ですが、それ以上に色が美しく、横縞に並べた色の帯、厚く擦ったその色の存在感が何よりも魅力をたたえています。もう一つの版画作品。市議会議長賞は、白黒作品で、いかにも版画らしいものですが、細かな彫りに一種の執念のようなものを感じさせ、大きな魅力になっています。

教育委員会賞作品は水彩です。レンガの窯を主題にしているために、ともすれば堅い質感で描いてしまいがちですが、水彩画であるのと、周囲の雑草が軟らかく窯を包み込むように描かれているために全体として柔らかな風景として成功している。

観光コンベンション協会会長賞は2点です。1点目は静物

の水彩画で、黒いカバンが主題です。この黒は目立った色ですがほかの色との関連で画面の中で品のある落ち着いた色となっています。2点目は庭園の中にたたずむ社殿。木々と建物がバランスよく落ち着いた風景として品位ある作品となっています。

奨励賞はそれぞれ個性あふれるテーマの選定と描き方で意図した魅力を引きだしています。

今回は委嘱特別賞を採択しました。外国の街角をレンガ積み の構図を基調として作者の独自の視点で抽象的にまとめています。清潔で一種の軽みを持っていて心地よい画面を作っています。委嘱作家の力量を感じさせます。

絵画は、ていねいな画面づくり、構図の工夫などに、独創性が加われば、グンと目を引く作品にしあがると思います。賞を目指される方はがんばってください。

<洋画部門審査会員 木村 順一>

書

昭和20年から始まった市民展は、今年まで受けつがれて70回の節目を迎えた。漢字、仮名、近代詩文、少字数、篆刻と回を重ねるごとに表現の内容が充実してきたと思う。

コロナ禍で、作品制作について厳しい環境の中で良く耐えて出品していただいたことに深く感謝したい。

今回の市長賞は、近代詩文書の加藤貴咲さんの「動く蒼き叢を」と題した作品が選ばれた。全紙をヨコにして“鐘楼の風見鶏”の六文字を大字書きにしている、しかもその六文字をただ大きくしているのではなく芸術的に変形している。大字・小字の全体作品構成は大胆な筆意を基調に躍動感あふれる奔放な大字の線条と、熟練された小字の気力充実した精彩に富んだ濃墨の作品は快作である。

第70回記念賞に輝いたのは、豊田玉葉さんの岑参の「山房春事」である。辺塞の詩人として有名な岑参の七言絶句を淡墨行草作品としてまとめている。山房とは山寺のことである。廢墟に建てられた山寺に春を感じて作られた詩である。結びの句「春来遷発旧時花」（春になれば、相変わらずもとの枝に昔ながらの花を咲かせる）とある。この詩情を流麗な行草の脈絡で表現したいと感じたのだろうか。2×8の縦長の三行作品構成は、文字の傾きや疎密を自由自在に駆使した暢びやかな一貫した淡墨作品である。紙面に満ちた章法の線条は、用筆の安定感に優れている。

財団理事長賞は、「飛鳥」と題した近代詩文書の梶田汀雨

さんが選ばれた。「鳥飛ぶ山も」で始まる詩文、自信の漲る潤渴の効果のある用筆法は見事である。漢字、仮名の文字の自然な融合配分は魅力作となっていて好感がもてる。

他に一般公募の特別賞作品も優れた作品が記念展にふさわしく多かった。

委嘱特別賞の服部光峰さんの作品は七言二句の半切作品である。幕末の三筆の一人貫名菘翁の書を臨書して日々その倣書を心懸ているようである。側筆の技法で八面出鋒の用筆法を抑揚、潤渴を工夫し菘翁の筆意に少しでも近づく努力を感じずる作品である。紙面に食いこんだ線質は、筆の角度、圧度、速度の三つ関連を無理なくまとめている。

日頃の書学習で、常に心にとどめておくこと、それは論語の中の一節「温故而知新」（故きを温ねて新しきを知る）である。この場合の故は、古典を解しても良いと考えている。古典を羅針盤として古典の技法を習得しその技法を用いて創作を心懸けることが創作の幅を広げ、深めていくことができる信じてやまない。古はこれ旧ならず、必ずや新しいものを生み出す価値が備わっていると。

<書部門審査会員 中村 立強>

彫塑工芸

今回の出品作品は昨年に比べ若干減少しました。この部門は彫刻、陶芸、漆、切り絵、ガラス、竹細工、パッチワーク、人形、七宝等バラエティーに富んだ技法が特徴で、楽しく拝見致しました。又作る喜びがひしひしと伝わってくる作品も多くみられ、市民美術展の良さを感じました。

市長賞：塚本将慈「夢の中で」の彫刻は、作者の創作への熱い思いを感じる意欲作で魅力的です。基本を踏えつつ、さまざまな試みをして高みを目指して頂きたいと思います。

第70回記念賞：奥村日出夫「ほほえみ」の木彫は、両手で顔を支える女の子がとても愛らしく、温かい空気感まで感じる作品です。作者の作品に対する、温かく真摯な制作態度を感じます。

財団理事長賞：伊藤克己「挑戦」は、カブト虫とクワガタ虫の闘いが木彫で表現された作品で、動きのある形が新鮮です。又足の細部まで綿密で丁寧な仕事が行われています。

教育委員会賞：館内圭子「春がすみ」は、桐塑人形の伝統人形をふまえ、柔らかな空気感につつまれた女性像です。色調が大変美しく、目元やアクセサリー等細部まで神経が行届いた仕事が行われています。昨年に続く受賞となり作者

の今後の飛躍が期待されます。

市議会議長賞：土方憲子「麻の葉編花籠」は、竹材を組んで作った繊細で涼しげな花籠です。本体と取手のバランスも調和がとれており、確かな技術を感じます。

観光コンベンション協会会長賞：長瀬徹「瑠璃観音像」は、木彫技法による観音像で、慈悲深い姿は確かな表現力と、丁寧な仕事がされている証です。

委嘱特別賞：八木宏美「飛騨古川 町散策」は、鯉が泳ぐ小川と建物を各種の布を巧みに用い風景画作品としています。選び抜かれた布で葉や壁等の材質感の違いを表わしています。鯉の赤色がポイントとなり、遠近感のある構成力が見事です。

奨励賞：慧「こころの炎」は、三段に組まれた形にランダムに配された四角や三角や丸が、突起のある口作りと灰白色の色調と相俟って、とてもユニークで独創的な夢のある作品に仕上がりました。

賞以外の作品も、心暖まる作品、御洒落な作品、頑張った作品等多くあり、次年度が楽しみになりました。一人でも多くの方が作る喜びを感じ、出品されることを期待しております。

＜彫塑工芸部門審査会員 柴田 明＞

写 真

2021年（令和3年）の今年は記念すべく第70回春日井市民美術展となり特別賞が設けられ、コロナ禍の中厳しい状況ですが、応募点数は昨年を上回りました。（一般113名、無鑑査26名、委嘱10名）

○市長賞「戯れ」外勢肇 無鑑査

親子か兄弟だろうか？お互い戯れ合って鼻の絡み合いが面白くカメラアングルの切り取り方が絶妙です。

さすがにベテラン。よくお名前を拝見します。

○第70回記念賞「夢の中に」市原淳宏

一次審査から気になっていた作品です。最後まで残り市長賞と争った何か異次元の世界から飛び出た階段状の照明と、奥のドームによって未来からのメッセージが伝わる様な作品です。私が一番気に入った作品です。第70回記念賞おめでとうございます。

○財団理事長賞「蛍のお社」中村春喜

最近、蛍の作品が多く出品されますが、この作品はテーマと狙いが的確に定まっています。コンポジット処理をさ

れていると思いますが「社」をもう少しアンダーにすれば蛍の光が目立ち、奥行感も出て靈厳さが出て来ると思います。私の好きな作品です。

○教育委員会賞「激流に挑む」神戸敏文

最近、カラフルなライフジャケットを着て小さな子供から大人まで急流を下ってスリルを楽しむラフティングスポーツが盛んです。それを作品にするには撮影場所と人物の表情にかかってきます。この作品は激流を高速シャッターにより一瞬を切り取る厳しさと表情の豊かさを表現されていると思いました。

○市議会議長賞「光芒を放つ」古田修

隠岐のローソク島と見られますが、舟上でしか観られない一瞬をレンズの小絞り効果による光芒と水面の波間に写る太陽を冷静沈着に捉えています。これが作品のポイントになりました。縦位置の作品も見てみたいです。

○観光コンベンション協会会長賞①「夏の帰郷鳥（三光鳥）」平澤孝允

愛くるしいブルーの目に黒い瞳、誰もが一度は撮って見たい三光鳥。ピント・構図・プロポーションが抜群です。技術が裏打ちされた優れた作品です。

クリスタルプリントでの作品が見てみたいです。

○観光コンベンション協会会長賞②「釣れるかな？」松永昭弘

朝霧の立ち上る池、小さな釣り舟から投げられたリールからの糸が射たされた瞬間を、シャッターチャンスと共に上手に捉えています。きっと大物が釣れると願って！

○観光コンベンション協会会長賞③「未明の北穂高岳」吉野徹 無鑑査

よく見る作品ですが、まだ薄暗い未明、テント・酒沢ヒュッテ、歩く登山者らの明り、星と北穂高岳をうまく絡ませて雄大な作品となりました。

○委嘱特別賞「清涼の谷」坂本進 委嘱

由布川峡谷の作品ですが、季節・水量が重要になってきます。新緑に苔むした滑らかな岩肌、絹糸を垂した様な水の流れ、兩岸の黒の岩の切り方が絶妙です。

さすがベテランならではの力量です。

＜写真部門審査会員 奥村 克己＞

応募点数

		日本画	洋画	書	彫塑工芸	写真	合計
応募搬入点数	①一般	28	88	173	17	113	419
	②無鑑査	6	21	57	8	26	118
	小計(①+②)	34	109	230	25	139	537
③委嘱		9	10	18	7	10	54
④審査会員参考作品		7	11	28	6	4	56
合計(①+②+③+④)		50	130	276	38	153	647

審査結果内訳

		日本画	洋画	書	彫塑工芸	写真	合計
特別賞	市長賞	1	1	1	1	1	5
	第70回記念賞	0	1	1	1	1	4
	財団理事長賞	1	1	1	1	1	5
	教育委員会賞	1	1	2	1	1	6
	市議会議長賞	1	1	2	1	1	6
	観光コンベンション協会会長賞	1	2	5	1	3	12
	合計	5	7	12	6	8	38
奨励賞		3	10	20	1	11	45
入選		22	74	140	13	95	344
選外		1	0	1	1	1	4
委嘱特別賞		1	1	1	1	1	5
		日本画	洋画	書	彫塑工芸	写真	合計
展示数合計		49	130	275	37	152	643

第70回記念(令和3年度)春日井市民美術展覧会
審査員解説(ギャラリートーク)中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、審査員解説(ギャラリートーク)は、全日程中止とさせていただきます。

ご来場の皆様の安心と安全を守るため、ご理解とご協力をお願いいたします。

入賞者名簿カラー版 インターネット公開のご案内

今年度より、本入賞者名簿のカラー版をインターネット上で公開いたします。
あわせてぜひご覧ください。

令和3年8月21日(土)から
春日井市及び文化財団ホームページ上で公開



春日井市民美術展覧会 資格について

「春日井市民美術展覧会規約 細則に関する事項」より

- 【審査会員】 次に掲げる者のうちから役員会で決め、春日井市長が委嘱する
- 1 市内在住、又は在勤の美術作家で現に活躍し、相当の地位にある者
 - 2 市民展に功績のある者
- 【委嘱者】
- 1 本展覧会において市長賞を2回、若しくは市長賞を1回と財団理事長賞・教育委員会賞・市議会議長賞・観光コンベンション協会会長賞・記念賞のいずれかを2回受賞した者
 - 2 市民展審査委員会推薦した者
- 【無鑑査者】
- 1 本展覧会において市長賞を1回、若しくは財団理事長賞・教育委員会賞・市議会議長賞・観光コンベンション協会会長賞・記念賞のいずれかを2回受賞した者
 - 2 市民展審査委員会推薦した者
- 【資格喪失】 2年連続して出品のない場合、その資格を失うことがある。

第70回記念 春日井市民美術展覧会入賞者名簿
令和3年8月発行

編集：公益財団法人かすがい市民文化財団
発行：春日井市

〒486-0844 春日井市鳥居松町5-44
公益財団法人かすがい市民文化財団 電話(0568)85-6868